

2021年3月1日発行

## 待ち遠しい春はそこまで来ていますね

## 最近の状況

NEWS LETTER第18号をお届けします。延長されていた緊急事態宣言が解除の方向に動いているようです。ワクチン接種も始まり、その成果が現れて、事態が収束に向かうことを願うばかりです。研究会の活動は、緊急事態宣言の様子をみながら続けて参ります。本格的な春の到来まであと少し。みなさまくれぐれもお体をお大事になさってください。

## 2月定例会を開催しました

2月19日（木）19時半から21時にzoom準定例会を開催し、8人の参加がありました。出版予定本第1稿の状況報告の後、安間さんよりADBのウズベキスタンPPP案件への取り組み状況の報告があり、続いて工藤さんから国際開発金融機関の資金調達状況についての報告がありました。ウズベキスタンでは、2021年1月のPPP法改正、財務省におけるPPP開発局の新設や職員の研修、個別PPPの開発支援、PPP事業への投融資保証業務などが企画されており、包括的かつ有効な支援がADBによりなされています。その意味で、成功事例のひとつである。点に注目し、ウズベキスタンにおけるPPPの最近のADBの支援とその進展状況については出版企画の中でも紹介するとのこと。出版企画は、現在編集上の調整が行われており、3月にも第2稿のチェックに進むことになるようです。

## 水道公論3月号の内容

「海外水ビジネスの要点」シリーズでは、「日本版シュタットベルケの類型化を考える」（森本達男さんと三輪千里さんの共同執筆）、コラム「海外水ビジネスの眼」では「温暖化と貧困問題に対処する道」を掲載します。



白梅

## 定例会・準定例会の計画について

- 海外水ビジネス企業の財務諸表を分析する作業グループのzoom打ち合わせ第6回が3月4日（木）20時から
- ZOOM幹事会が3月12日（金）20時から
- 定例会が3月18日（木）12時から14時。講師はJFEエンジニアリングの福田一美常務。会場は、新橋駅前ビル1号館6階のエジソン会議室を予定。ZOOMも併用。ただし、緊急事態宣言の状況によって変更があります。

## 水道公論コラム原稿を募集しています

字数は1500から1600字、「である調」、ペンネーム（実名は出さず）で原稿を募集しています。連絡は山村まで。